

(2018. 11)

解答例

【問一】

一、執筆された地名……佐渡の一谷

誰に宛てて送られたか……富木常忍

二、

イ、天台

ロ、①十法界 ②世間 ③心

三、

イ、(順に) 情非情 観門

ロ、爾前経と法華経迹門では「始成正覚」を説きながら、法華経本門では「久遠実成」を説くこと

四、(順に) 己心 観心

五、無願の悪人も猶妻子を慈愛す

六、(順に) 不軽菩薩 悉達太子

【問二】

一、(順に) 未顕 久成

二、

イ、釈尊 天台(智者大師) 伝教

ロ、釈尊の因行果徳の二法は妙法蓮華経の五字に具足す我等此の五字を受持すれば自然に彼の因果の功徳を譲り与え給う

三、

イ、声聞界

ロ、釈尊

ハ、菩薩

四、(順に) 一念三千の仏種 一身一念

【問三】

一、

イ、(省略)

ロ、彼は一品二半此れは但題目の五字なり

二、折伏を實踐する時……「賢王と成って愚王を誠責し」の趣旨

摂受を行ずる時……「僧と成って正法を弘持す」の趣旨

三、(順に) 地涌千界 寿量品 南無妙法蓮華経 一念三千 末代

【問四】

- 一、夫れ法華經と申すは八万法藏の肝心十二部經の骨髓なり、三世の諸仏は此の經を師として正覺を成じ十方の仏陀は一乘を眼目として衆生を引導し給ふ
- 二、
 - イ、なやます
 - ロ、第六天の魔王
- 三、
 - イ、法華經を信ぜられつる
 - ロ、「日蓮が平左衛門の尉がもとにて・うちふるまい・いゝしがごとく・すこしも・をづる心なかれ」の趣旨
- 四、一切は・をやに随うべきにてこそ候へども・仏になる道は随わぬが孝養の本にて候か
- 五、此の釈は日蓮が身に当るのみならず門家の明鏡なり謹んで習い伝えて未来の資糧とせよ
- 六、設ひ・いかなる・わづらはしき事ありとも夢になして只法華經の事のみさはくらせ給うべし

【問五】

- 一、
 - イ、同意
 - ロ、破和合僧
 - ハ、一凶
- 二、(省略)
- 三、(省略)